



『帰路』川島 照代画

理念

- 安心・安全・やすらぎ・心のこもったサービスを提供します。
- 地域・住民・患者から評価・信頼される医療を提供します。
- 絶えざる改善と生涯教育を継続し、職員個々の能力を向上します。

運営方針

- 整形外科の専門病院として、良質の医療を提供できるように最善の努力をします。
- 患者、利用者の権利を尊重し、インフォームド・コンセント(説明・同意・納得)を含む安全管理を徹底します。
- 「医は仁ならざるの術、務めて仁をなさんと欲す」の精神を尊重します。
- 社会の変化にしなやかに対応しながら心技態を切磋琢磨し、全人間的な成長を目指します。
- 地域の皆様の健康と生命を守るために最善を尽くします。
- 職業を通じて地域社会に奉仕し、地域の社会的共通資本として認められるように努力します。
- 高齢化社会を迎え、安心・安全と心のこもった医療・介護を提供します。

プエルトリコにて



社会医療法人玄真堂 川島整形外科病院

理事長 川島 真人

6月27日〜29日にかけてアメリカの自治連邦区であるプエルトリコにて国際潜水・高気圧環境医学会が開催され、出席してきたので報告する。

プエルトリコは米国フロリダから東南に1600kmのカリブ海にある島国で、1492年にコロンブスが発見した西インド諸島にバハマ諸島の一角で、翌年に現在の首都サンファンに入港した時にスペイン語で「プエルト＝美しい・リコ＝豊かな」と叫んだのが地名になったとされている。ヨーロッパ人の到来以前は先住民にタイノ族によってボリケン＝勇敢なる君主の国と呼ばれていた。1493年、コロンブスの到着以来、スペインによって開発が続けられ、

政府の議事堂にはプエルトリコとアメリカ両国の国旗が掲げられ、議事堂を囲むようにアメリカ歴代大統領の立像が建てられている。

サンファンの歴史地区を見学したところ、カリブ海の海賊から街を守るために建設された多くの堅牢な要塞が世界文化遺産として保存されており、美しいスペイン風の街並みが多く観光客を集めていた。

16世紀〜18世紀にかけてはイギリスやオランダの海賊の攻撃を何度か受けたが一貫してスペインは植民地を守り、1797年〜1890年にかけては平和な生活が続いていた。19世紀後半にスペインからの独立運動が起こり、1898年には一端、自治政府が成立したが、同年に始まった米西戦争でアメリカ軍に占領されその後、アメリカ合衆国の領土となり、現在はアメリカ自治連邦区となっている。

公用語は英語とスペイン語だが現地ではほとんどスペイン語で話されていた。

現在の住民はスペイン系の白人から奴隷として連れて来られたアフリカ系の黒人とその混血の人々が混在している。彼らはアメリカ合衆国のパスポートを所持し、アメリカドルを使っており、アメリカ市民としての意識も高い。特にスポーツの世界ではプロ野球選手を多く輩出しており、アメリカのメジャーリーグや日本のプロ野球選手などに多数のプエルトリコ出身者がいる。またボクシングやバスケット、バレーボールなども優れたスポーツ選手が活躍している事でも知られている。

学会が開催されたウィングラムランドホテルの周りは完全なリゾート地区として隔離されており、ハワイを思わせるような美しい海に囲まれた中のリゾートホテルであった。健康的な食事も提供されており、ラテンミュージックのようなキューバ音楽も演奏されていて快適な滞在であった。

98年には一端、自治政府が成立したが、同年に始まった米西戦争でアメリカ軍に占領されその後、アメリカ合衆国の領土となり、現在はアメリカ自治連邦区となっている。

公用語は英語とスペイン語だが現地ではほとんどスペイン語で話されていた。

現在の住民はスペイン系の白人から奴隷として連れて来られたアフリカ系の黒人とその混血の人々が混在している。彼らはアメリカ合衆国のパスポートを所持し、アメリカドルを使っており、アメリカ市民としての意識も高い。特にスポーツの世界ではプロ野球選手を多く輩出しており、アメリカのメジャーリーグや日本のプロ野球選手などに多数のプエルトリコ出身者がいる。またボクシングやバスケット、バレーボールなども優れたスポーツ選手が活躍している事でも知られている。

学会が開催されたウィングラムランドホテルの周りは完全なリゾート地区として隔離されており、ハワイを思わせるような美しい海に囲まれた中のリゾートホテルであった。健康的な食事も提供されており、ラテンミュージックのようなキューバ音楽も演奏されていて快適な滞在であった。

98年には一端、自治政府が成立したが、同年に始まった米西戦争でアメリカ軍に占領されその後、アメリカ合衆国の領土となり、現在はアメリカ自治連邦区となっている。

公用語は英語とスペイン語だが現地ではほとんどスペイン語で話されていた。

現在の住民はスペイン系の白人から奴隷として連れて来られたアフリカ系の黒人とその混血の人々が混在している。彼らはアメリカ合衆国のパスポートを所持し、アメリカドルを使っており、アメリカ市民としての意識も高い。特にスポーツの世界ではプロ野球選手を多く輩出しており、アメリカのメジャーリーグや日本のプロ野球選手などに多数のプエルトリコ出身者がいる。またボクシングやバスケット、バレーボールなども優れたスポーツ選手が活躍している事でも知られている。

学会が開催されたウィングラムランドホテルの周りは完全なリゾート地区として隔離されており、ハワイを思わせるような美しい海に囲まれた中のリゾートホテルであった。健康的な食事も提供されており、ラテンミュージックのようなキューバ音楽も演奏されていて快適な滞在であった。

98年には一端、自治政府が成立したが、同年に始まった米西戦争でアメリカ軍に占領されその後、アメリカ合衆国の領土となり、現在はアメリカ自治連邦区となっている。

公用語は英語とスペイン語だが現地ではほとんどスペイン語で話されていた。

現在の住民はスペイン系の白人から奴隷として連れて来られたアフリカ系の黒人とその混血の人々が混在している。彼らはアメリカ合衆国のパスポートを所持し、アメリカドルを使っており、アメリカ市民としての意識も高い。特にスポーツの世界ではプロ野球選手を多く輩出しており、アメリカのメジャーリーグや日本のプロ野球選手などに多数のプエルトリコ出身者がいる。またボクシングやバスケット、バレーボールなども優れたスポーツ選手が活躍している事でも知られている。

学会が開催されたウィングラムランドホテルの周りは完全なリゾート地区として隔離されており、ハワイを思わせるような美しい海に囲まれた中のリゾートホテルであった。健康的な食事も提供されており、ラテンミュージックのようなキューバ音楽も演奏されていて快適な滞在であった。

98年には一端、自治政府が成立したが、同年に始まった米西戦争でアメリカ軍に占領されその後、アメリカ合衆国の領土となり、現在はアメリカ自治連邦区となっている。

公用語は英語とスペイン語だが現地ではほとんどスペイン語で話されていた。

現在の住民はスペイン系の白人から奴隷として連れて来られたアフリカ系の黒人とその混血の人々が混在している。彼らはアメリカ合衆国のパスポートを所持し、アメリカドルを使っており、アメリカ市民としての意識も高い。特にスポーツの世界ではプロ野球選手を多く輩出しており、アメリカのメジャーリーグや日本のプロ野球選手などに多数のプエルトリコ出身者がいる。またボクシングやバスケット、バレーボールなども優れたスポーツ選手が活躍している事でも知られている。

学会が開催されたウィングラムランドホテルの周りは完全なリゾート地区として隔離されており、ハワイを思わせるような美しい海に囲まれた中のリゾートホテルであった。健康的な食事も提供されており、ラテンミュージックのようなキューバ音楽も演奏されていて快適な滞在であった。



Peter Denoble DAN 副理事長夕食会

我々は最初の日に国際潜水病救出システム(DAN)のペーター・デノブル副理事長から食事のご招待を受け、私と交代した日本の高気圧学会代表理事を



John Peters UHMS 理事長、柳下和慶日本高気圧環境・潜水医学会理事長と



ケーナで“タイタニック”演奏
眞野・川嵜ヤングサイエンティスト・アワード授与

務める東京医科歯科大学の柳下准教授をはじめ大学の関係者などが招待された。和やかな雰囲気ではアメリカの方々の食事が開かれ、滞在中には韓国の教授達からもサンファン地区で食事の招待を受けた。

設立した、眞野・川嵜ヤングサイエンティスト・アワードの授与にあたり故・眞野喜洋教授の業績を語り、また縦笛のケーナによって“タイタニック”を演奏して喝采を浴びるなど楽しい思い出となった。

そして、バンケットでは和やかな国際交流が行われ、私も名誉会員として故・眞野喜洋教授を顕彰するために私が

学会はジョン・ピーター理事長をはじめとする国際的な学会であり、現在の高気圧医学潜水学の最先端の話題が

日々練り広げられ、我々にとつても大変有意義な学会であった。私達も1972年から続けて行っている減圧性骨壊死についての発表を行った。バンケットにおいては、東京医科歯科大学の後輩である山本尚輝先生が論文発表賞をもらった事は喜ばしい事であった。バンケット終了後、私がお祝いの会をロビーのバーにて主催し、出席した日

本人全員と祝杯をあげた事も印象深い思い出であった。今回の私の発表は1972年に九州労災病院に赴任して以来、天児民和院長のご指導の下に潜水病(減圧症)に伴う骨壊死の研究に取り組んだ事である。まず有明海の潜水士の検診を行ったところ、潜水士301人の約60%が骨壊死を持っているという大きな問題にぶつかった。その後、現在に至るまで1000人近くの骨壊死の検診を行ってきたが、近年は減少したとはいえ潜水土10%〜30%に骨壊死が発生しているという、職業病としても大きな問題となっている。私達はこの問題に取り組み、これを1975年には職業病として労災認定に漕ぎ着け、その予防と治療、原因究明、病態生理の研究を東京医科歯科大学の故・眞野喜洋教授、鹿児島大学の北野元生教授、そしてウイスコンシン州立大学のレーナ博士や

ソバキン博士達と続けてきた。この骨壊死は1941年のグルツマッハー(ドイツ)の報告以来、減圧性骨壊死として広く知られている。日本の潜水土に発生頻度が高いのは特異的な事であった。1972年〜1981年にかけて検診を受けた潜水土747名のうち56.4%が骨壊死を持っていた。このような中で私達は潜水時間の制限や減圧症の予防方法などの講演で九州各地を回った結果、1982年〜2003年にかけては205名の潜水土のうち10.2%が骨壊死と大幅に減少してきている。我々はこれらの減圧性骨壊死を太田・松永レントゲン分類により分類し、どのようなタイプが臨床的に重症を呈するものであるかを長年に渡って発表し、また実験的に骨壊死を作るためにウイスコンシン州立大学のレーナ博士やソバキン博士などと共同研究を行った。羊5



サンファンツアー

00頭を使って我々のプログラムによってほぼ90%以上の確率で骨壊死を作る事に成功した。この羊を共同研究者の北野元生教授と病理解剖を日本で行って病因を調査したところ、骨髄炎内に血小板血栓が発生し骨壊死となっている事突き止めた。この血小板がどのような機序で血栓を起こすか、ラットなどを使って動物実験を行い急速減圧した

その後、ペンシルベニア大学のトム教授（現在はメリーランド州立大学）などによっても立証され、血小板減少はバルが血管壁を傷害する事で様々なサイトカインが発生し、血小板凝集を起こして減圧症や減圧性骨壊死などを引き起こすのではないかと言うことを突き止め、予防の領域にまであと一息というところに来ていた事を発表した。

ところ、著名な血小板の減少と凝集が起こる事を突き止めた。従って血小板の凝集を阻害するようなビタミンEなどの薬が今後骨壊死の予防に役立つのではないかとこの研究は期待された。我々が



高位脛骨骨切り術



第一診療部長
本山 達男

内反膝に対する高位脛骨骨切り術は私が医師になつた1992年頃は積極的に行われていたが、その後の医療制度の変化で、長期入院を要したこの手術は徐々に減ってきていました。しかし10数年前ぐらいより固定材料が改良され、内側を開大する開放型の骨切りが普及しだし、早期の荷重が可能になりまた徐々に行われるようになって



います。従来の外側から楔状に骨切除する閉鎖型の骨切りにおいても、以前はくりぬくようにきれいに骨切除し、内側の骨皮質をわずかに残し撓むように骨切り面を接触させ固定するという職人技を要するような手術でしたが、固定材料が改良され内側の皮質を完全に切つてもしつかり固定でき、早期荷重が可能となりました。高位脛骨骨切り術は、人工関節になる前のまだ膝の変形の進行が重度でない場合が適応になります。当院においても開放型の骨切りも行うようになります。この数年徐々に症例数が増加しています。自分の関節を温存できるのが高位脛骨骨切り術の最大の利点ですが、適応がある場合はこれからも積極的に行っていきたくと考えています。



第42回日本骨・関節感染症学会に参加して



医局長 副医長
渡邊 裕介

7月19、20日に横浜で行われた第42回日本骨・関節感染症学会に参加させて頂きました。私の発表は『ガス壊疽に



対する高気圧酸素治療』であり、高気圧酸素治療が重症の感染症に有効である事を報告させて頂きました。ガス壊疽というのは軽微な外傷などを契機として発症し急速に筋肉などを破壊する恐ろしい感染症です。過去の論文報告では致死率も非常に高いのですが、当院では高気圧酸素治療を併用する事で良好な治療成績を残しています。当院の残してきた実績、理事長をはじめとする多くの先生やスタッフの支えのおかげで無事に発表を終えることが出来ました。

また、多くの先生方の発表を聞く事が

第20回九州高気圧環境医学会に参加して

高気圧治療科クリニック科長 高尾 勝浩

7月6日に第20回九州高気圧環境医学会が飯塚病院院長増本陽秀学会会長のもと、イイツカコスモコモンで開催されました。本大会は『いま

扉を開く高気圧酸素治療の展開』をテーマに、2020年の東京オリンピック開催を控えて、東京医科大学医学部附属病院准教授・高気圧



治療部柳下和慶部長のご講演『オリンピック・パリク・パリクと高気圧酸素治療』、そして九州保健福祉大学

良い刺激となりました。整形外科領域の感染に対するエビデンス(科学的なデータ)の集積が急速に進んでいます。そういったエビデンスとわれわれの行ってきた伝統をいか

に融合していくかが今後の課題であると考えています。有意義な学会に参加させて頂きありがとうございました。この体験を患者さんに還元できるように精進致します。



保健科学部臨床工学科右田平八准教授の教育講演『高気圧酸素治療の事故事例から知るリスクコントロール』、更に小石原焼 太田熊雄窯の太田孝宏先生の文化講演『小石原焼の伝統と太田熊雄窯』を拝聴して、人のお役に立つための今後の鋭気を養うことが出来ました。他施設の貴重な一般演題に加えて、当院から『2000年以降の当院での高気圧酸素治療を行った骨髄炎の治療成績』を私が発表させて頂きました。

飯塚病院の多くの方々への日の会議や懇親会と2日間に渡り、大変有意義な時間を頂き誠にありがとうございました。

第32回日本臨床整形外科学会 学術集会に参加

リハビリテーション部 副主任 辛嶋 良介

7月14、15日に神戸国際会議場、神戸商工会議所で行われた第32回日本臨床整形外科学会学術集会で発表する機会を頂きました。テーマは

『Never stop learning — 原点
回帰、臨床医は一例に学ぶ—』

であり、教育講演から日常診療で遭遇した稀な症例報告のセッションなど多岐にわたり聴講できました。私自身は『肩関節挙上での上腕骨頭突出について』というテーマで、エコーを用いて行った調査結果について報告しました。近年エコーの画像解像度は非常に



美術館から見たハーバーランド

良くなり整形外科分野では広く応用されていますが、運動療法の分野では道半ばです。今後も継続して患者さんへ還元

元できるよう取り組みたいですと考えています。

早いもので阪神・淡路大震災から四半世紀が経ちました。発生時、私は中学1年で、中間テスト中の教室に担任の先生

平成12年に、かわしまクリニックが開院しました。病院と分けることにより機能分化を図り、外来に特化してクリニックリハビリも出来たのですが、理学療法士2名、助手4名と、とても少ない人数での始まりでした。開始当初は大忙しで猫の手が「神戸が大変なことになっている」と駆け込んできました。連日のニュースで、倒壊した高速道路とそこから転落しそうなバス、瓦礫の町中に登る黒煙、それらの映像は今でも鮮明に記憶しています。ご存じのように現在は復興が成され、きれいな街並みとなっています。時代も代わり自身も40才が目前に迫っており、時の経つ早さを感じます。理学療法士として「惑わず」成長できるよう今後も精進してまいりたいと強く思いました。

クリニックリハビリの紹介

リハビリテーション部 科長 近藤 征治

も借りたいほど。また今の様な電子カルテはなかったの
で、毎日クリニック事務に行き、遅くまで残って手書きでのカルテ記入やレントゲンの確認を行っていたのを思い出します。

今では理学療法士15名、作業療法士4名、助手4名と職員も増え、リハビリ施設も大きくなり、累計で年間11万人以上の患者さんがクリニックリハビリへ治療に訪れています。



整形疾患のリハビリが主ですが、慢性期の中枢疾患や難病指定の疾患等のリハビリも行っています。最近ではスポーツ疾患の治療の為に、高負荷をかけての運動を行うトレーニングマシンや、中高年の方々の持久力向上のための自転車やランニングマシンも購入し、みなさんも喜んでくれています。

今後は高齢者も多くなり、介護予防のためにも運動は必要不可欠な物となってきました。

リハビリに興味のある方は、診察時に担当Drへ相談してみてください。

「志学塾と玄真堂TQM活動」について

白男川 彰

私は、和傘工房 朱夏代表・

県議会議員で奮闘しておられ

る今吉次郎氏（通称：次郎ちゃ

ん）のお誘いで、「志学塾」

と称する「幸せな人生」を送

るための学習塾なるものに席

を置いています。この会は、

会員が生徒であり、時には教

官も務めます。要は、自分の

得意な分野の自慢話をした

り、聞いたりする会です。私

も認知症予防に少しでも役に

立てばと老体に鞭打ち末席を

汚しています。

この会は、中津にある県立

工科短大の教官であった故安

田俊彦氏が短大の休日を活用

して始めた会で、現在は2代

目塾長 伊集院豊磨氏を中心

に、短大の教官・学生、高校

の教員、行政マン、企業の営

業マン、コンサルタント、そ

して私のようなOBで数は決

して多くありませんが、中々

の顔触れです。OBの中には

東京税関の高官だった方もお

られ話題は豊富です。塾長の

伊集院氏は短大の教官でした

が、九大大学院で建築学を専

攻され九大の教官も務めた学

者ですが、今吉次郎氏の灯笼

祭り等には、春日市の自宅か

ら早起きして手伝ってください

る中津大好き人間の一人で

す。

さて、玄真堂では「院内T

QM発表会」をされています

が、志学塾でもここ数年拝聴

させていただいています。今

年も3月に27回目の発表会が

あり、私も伊集院氏や何人か

の塾生と共に拝聴させていた

だきました。27年間途切れる

事無く継続され、年々内容が

充実している事を絶賛する部

外専門家の講評でしたが、私

も昔、国の機関で職場の業務

改善と称し、同じ様な活動や

発表会をしていた事を記憶し

てますが、今思い出すと、何

方かと言えば年間計画を何と

か処理した程度のもので、担

当する職場や職域をあげてで

はなく、担当を命ぜられた者

と、その上司位しか意識して

いなかった気がします。更に

組織の槍の先（重要部署・重

要案件）に偏重した部分も

あった様に思います。

実は、志学塾の伊集院氏は、

職業柄数多くの学校や企業等

でTQM活動に関わってこら

れてますが、これまで玄真堂

ほどの活動を見たことがない

と大絶賛されています。少な

くとも九州管内で、官民間わ

ず、これほどの成果をあげて

いる組織は無いと断言されて

います。その具体的な理由と

して、30年近くも継続され着

実により充実進歩している

点、組織の先端部門も後方部

門も区別なく全職域が同じレ

ベルで取り組んでいる点をあ

げられ、「組織のトップとサ

ポートする専門スタッフの熱

意が組織の隅々まで浸透して

いる結果でしょう」と結んで

いました。

辞書でTQMを調べると、

「総合的（全社的）品質管理。

企業の全従業員が品質管理の

重要性を認識し、その向上に

努力すること。」とあり、も

ともと製造業を中心にしたも

のであったが、現代社会にお

いて、品質管理の重要性は特

定の職域や職場に限定したも

のではないことは、言葉のう

えでは多くの人に理解されて

いるように見えるが、実態は

大企業でさえ利益優先等々か

らTQM活動は道半ばといえ

る状況の中で玄真堂の取組み

は群を抜いていると伊集院氏

は絶賛しています。

因みに志学塾の令和元年の

学習目標は「玄真堂のTQM

活動を学習する事」です。宜

しく願います。



20周年バーハーモニーコンサート開催

コーラス部 南 美由紀



令和元年7月7日（七夕）、リバーハーモニーは中津文化会館にて20周年のコンサートを開催しました。

玄真堂の職員で構成されているリバーハーモニーは現在、今吉真由美先生のご指導のもと、部員19名で、主な活動は施設への訪問や院内の行事の参加などを行っております。

毎週月曜日の業務終了時に練

習をしておりますが、業務の都合で全員が揃うことはめったにありません。

当日は体調不良や練習不足もあり、人様に聴いて頂ける程の上手なコーラスができるだろうかと不安もありましたが、沢山の方にご来場頂き、また皆様の温かいお言葉や拍手に励まされ、あつという間に時間が過ぎたように思います。



この日は川島眞人理事長も出演し「ひとよぎり」や「ゲーナ」の演奏で会場を盛り上げてくださいました。コンサート終了後、ご来場の皆様からの見送りの際「感動したよ」「声がよく出てたね」「綺麗だったよ」等のお言葉をたくさん

ん頂き開始直前の不安が嘘のように充実感や達成感へと変わりました。

今後、30周年コンサートを目標に細く長く楽しみながら練習に励みたいと思います。

最後に、ご来場頂いた皆様には心より感謝致します。そしてボランティアスタッフの皆様にもこの場を借りてお礼を申し上げます。ありがとうございました。



とうろう祭りに参加して

社会奉仕委員会 むつみ園 前田 佳奈子

8月9日、中津市寺町にて開催された『第21回とうろう祭り』。例年同様、当院も灯籠を制作し、コンテストに出品いたしました。本年の作品タイトルは『なかつひと、まつり、ころぎし〜』。中津祇園、鶴市花傘、鉾のまつり、城下町中津ゆかりの偉人、学問や思想、そしてその伝

統と志を継ぐ者…。郷土への思いを込め、切絵の灯籠に仕上げました。

パソコンなどのデジタル機器はあえて使用せず、一枚一枚を手描きで作画。それを和紙に写し、黒画用紙を切り貼りしていく…。気の遠くなるような手作業でしたが、灯籠制作チーム一丸となり業務終了後の時間で制作。完成の瞬間の達成感は言葉では表せないほどのものでした。

迎えた当日の寺町一带は、暖かく幻想的な灯籠の光に包まれており、その一角に飾られた私たちの灯籠にもたくさんの方々



が足を止め、見入ってくださいました。「よくできているね」「手作業なの!?!」「理事長先生そっくり!」などなど、お褒めの言葉の数々に、職員一同、感激の思いで頭を下げておりました。

審査の結果、残念ながら入賞は果たせませんでした。が、仲間とともに志をひとつにして作品づくりに挑んだ数日間、青春時代を取り戻したような素晴らしい時間となりました。

来年の『第22回とうろう祭り』を、今から楽しみにしております。

敬老会を終えて

介護老人保健施設なのみ 水嶋 洋平

残暑厳しい日が続く9月11日（水曜日）と14日（土曜日）、二部構成にて、令和元年度老健なのみ敬老会を行いました。

11日はちらし寿司や茶碗蒸しを取り入れたお祝御膳をお出ししました。いつもは少食のご利用者様も美味しそうに召し上がっていらつしやいました。午後からは米寿3名、卒寿2名、百歳以上2名のご利用者様の表彰を行いました。ご利用者様からは「まさかこんな表彰をして



もらえるところは思わなかった。嬉しかった。」等の感想を頂きました。また、ご利用者様全員に長寿のお祝いプレゼントをお渡しした際には皆様から嬉しそうなお礼の言葉を頂きました。

14日は土屋神楽の方々による御神楽を披露して頂きました。久しぶりに見る御神楽を目に涙を浮かべて見ているご利用者様や、職員と鬼との掛け合いに大きな声を出して笑う姿もあり大



変盛り上がった時間となりました。午後からは川島理事長をはじめアンデスの会の方々によるケーナの演奏があり一日を通してご利用者様と楽しい時間を過ごす事が出来ました。

最後にご協力頂いた方々に感謝し、今後もご利用者様に喜んでいただける行事作りに努めてまいりたいと思います。

健康長寿ドック 受けてみませんか？



当院では2016年から“健康長寿ドック”を行っています。人間ドックのように病気を早期に発見・治療する事が目的ではなく老化によって現れる身体の弱点につて改善・予防するためのアドバイスをしています。

年齢や性別に関係なく自分の身体を知ることとはとても大切で、生活習慣病の予防や長寿につながります。年齢、性別関係なくどなたでも参加できます。お気軽にスタッフへお声掛けください。



参加者の声

川島先生の詳しい説明でとても良くわかりました。自分のわからない部をお聞きする事が出来て、大変満足しています。何時間でもお話を聞きたい気分でした。本当にありがとうございました。

K・T 81歳 女性

- 2019.7.7
第5回福岡青洲会病院運動機能研修会 (福岡県)
「股関節機能障害に対する理学療法」
クリニックリハビリテーション科羽田主任講演
- 2019.7.19～20
第42回日本骨・関節感染症学会 (横浜市)
「2期的再置換術におけるオゾンナノバブル水を用いた局所持続洗浄」
永芳副院長発表
「ガス壊疽に対する高気圧酸素治療」
渡邊副医局長発表
- 2019.7.24
第195回USA学術講演会 (宇佐市)
「骨粗鬆症と顎骨壊死～高気圧酸素治療とオゾンナノバブルの応用について～」
川島理事長講演
- 2019.8.8
研究推進支援セミナー (大分市)
「研究計画の立案について」
井原理学療法士講演
- 2019.8.10
放送大学大分学習センター開設25周年記念講演会 (大分市)
「医は不仁の術 務めて仁をなさんと欲す」
川島理事長講演

院内勉強会

モーニングセミナー

- 2019.6.21
「日本手外科学会参加報告」
古江第二診療部長
- 2019.7.19
「半月板縫合について」
本山第一診療部長
- 2019.8.16
「肩鎖関節」
佐々木医局長

カワシマハンドセラピィ研究会

- 2019.6.17
「当院における橈骨遠位端骨折後の骨粗鬆症治療の現状とリハビリテーション経験」
石井作業療法士
「橈骨遠位端骨折総論」
仙石作業療法士
- 2019.7.22
「橈骨遠位端骨折 ORIF後リハビリ」
川端作業療法士

院外発表・講演

- 2019.6.1～6.2
足と構造と機能研究会 第2回集会 (大阪府)
「足圧中心時系列データのフラクタル解析～アキレス腱縫合後患者の検討～」
井原理学療法士発表
「有痛性外脛骨術後症例に対する足部内側縦アーチの後脛骨筋による即時的効果」
橋本理学療法士発表
「超音波画像診断装置を用いた踵骨下脂肪体の厚みの測定における検者内信頼性の検討」
羽田野理学療法士発表
- 2019.6.2
聞きちょくれ！中津市の語り部の話 (中津市)
「中津と蘭学」
川島理事長講演
- 2019.6.13～6.15
ICEM2019 (国際救急医学会議) (韓国)
「Hyperbaric Oxygen Therapy For Orthopaedic Infection」
川島理事長講演
第11回日本関節鏡・膝・スポーツ整形外科学会 (北海道)
「Repair of the displaced bucket-handle tear of the medial meniscus」
本山第一診療部長発表
- 2019.6.14
第5回北九州Ortho Plastic Seminar ～感染治療における現状と今後の展開～ (福岡県)
「当院での骨関節感染症の治療」
田村クリニック所長講演
- 2019.6.15～6.16
第54回日本高気圧環境・潜水医学会学術総会 (東京都)
「潜水士における減圧性骨壊死の知見から」
川島院長発表
「高気圧酸素治療を併用した長管骨骨髄炎の治療成績」
田村クリニック所長発表
「高気圧酸素治療と陰圧閉鎖療法を併用した創傷治療」
高気圧治療科宮田副主任発表
- 2019.6.26
中津市認知症多職種協働研修会 (中津市)
「事例紹介」
ヘルパーステーション入江管理者発表
- 2019.7.6
第20回九州高気圧環境医学会 (福岡県)
「2000年以降の当院での高気圧酸素治療を行った骨髄炎の治療成績」
高気圧治療科高尾科長発表
- 2019.7.6
中津市地方文化財協議会 特別記念講演 (中津市)
「村上玄水の画像発見について」
川島理事長講演

膝関節勉強会

- 2019.6.10
「反復性膝関節脱臼」
林理学療法士
- 2019.7.10
「当院の前十字靭帯損傷の治療成績」
橋本理学療法士
- 2019.8.28
「膝内側半月板の逸脱について」
クリニックリハビリテーション科辛嶋副主任

看護部勉強会

- 2019.6.17
重症度、医療・看護必要度
- 2019.7.1
トリアージ研修
- 2019.8.5
医療機器の取り扱い
キャリア開発ラダー説明会

- 2019.8.19
「尺骨遠位端骨折の一症例」
病院リハビリテーション科杉木部長代理
「橈骨遠位端骨折 保存リハビリ」
安田作業療法士

川島肩をカタろう会

- 2019.6.25
「広範囲肩腱板断裂の治療-当院における今後の治療方針-」
佐々木医局長
- 2019.7.30
「腱板断裂における最近のトピックス」
クリニックリハビリテーション科羽田主任
- 2019.8.24
「肩関節の徒手的検査-感度・特異度に注目して」
井原理学療法士



医局抄読会

第1、2、4火曜日の朝7時45分スタート

2019.6.4

内側半月バケツ柄状断裂の治療に対する垂直マットレス法と交差縫合法そして1列と2列の縫合法での生体力学的比較

本山第一診療部長

2019.6.25

デュプイトレン拘縮の治療成績

古江第二診療部長

2019.7.2

膝関節の変性においてPRP（多血小板血漿注入）療法はヒアルロン酸注射以上の効果はなかった

川島院長

2019.7.23

急性血行性の人工関節周囲感染では洗浄、デブリードマンの成績が不良となる

渡邊副医長

2019.7.30

関節鏡視下腱板修復術より前に行う注射のタイミングは手術部位感染（SSI）の危険性に強い影響を与える

佐々木医局長

2019.8.6

投球動作を行うアスリートの第1肋骨疲労骨折

後藤副医長

2019.8.13

小～中肩腱板断裂にて10年の経過観察では、腱修復が理学療法より勝る

藤池医師

2019.8.27

架橋補強ACL修復術後6か月の靭帯の大きさとMRI信号強度の予測因子

本山第一診療部長

論文（共同含）・誌上发表

- 辛嶋良介, ほか: Fat pat angle as an indicator of the dynamics of the infrapatellar pat in ultrasonography. 日臨整誌. 44 (1): 15-18
- 川島真人: 化膿性関節炎、骨髓炎に対する局所持続洗浄療法の温故創新. 大分県整形外科医学会誌. (38): 14, 2019.
- 川島真人: 会長挨拶. 会報 第55号 三毛の文化. :1, 2019.
- 川島真人: 解体新書と杉田玄白. 会報 第55号 三毛の文化. :6-10, 2019.

冬の食事

管理栄養士 齋藤 潤哉



冬といえば風邪。主に空気中のウイルスに感染することにより発症します。ウイルス等の侵入に対する免疫力は20代をピークに、年齢を重ねるごとに低下するといわれています。

風邪の予防には、ウイルスの侵入を防ぐように十分な睡眠とバランスのとれた食事をもって全身の免疫力を高めるとともに、鼻やのどの粘膜の免疫力も高めておくことが大切です。特にビタミンAは粘膜を強化する働きがあり、ビタミンCは感染に対する抵抗力を高める働きがあります。

また、身体を温めると免疫機能が上がり、風邪を予防することに効果的に働きます。

風邪予防に効果的な食事

ビタミンA

鼻や喉などの粘膜を保護

ほうれん草、人参、南瓜等の緑黄色野菜、うなぎ、鶏卵など

ビタミンC

風邪に対する抵抗力を高める

イチゴ、みかん、キウイフルーツ、ブロッコリー、芋類など

ビタミンB1

糖質をエネルギーにかえ、身体のたるさを軽減

豚肉、うなぎ、大豆など



身体を温める食事

身体を温めるメニュー

鍋、雑炊、うどん、スープなど

身体を温める食品

にんにく、生姜、唐辛子など

※刺激成分や辛味成分には消化を助ける働き、殺菌効果もあり風邪予防に効果的です。

ただし、喉が痛む時、胃腸の悪い時には控えましょう。



生姜

生姜は、昔から冷えの改善に効果がある食べ物として代表的なものです。

手軽に作れる「生姜紅茶」

温かい紅茶におろし生姜を入れるだけのお手軽飲み物。好みに応じて黒砂糖を加えても。



身体に必要な栄養素

①主食（炭水化物）

エネルギーや集中力の維持



②おかず（たんぱく質・脂質）

強いカラダをつくる材料



③野菜（ビタミン・ミネラル）

体調を整える



④果物（ビタミン・炭水化物）

疲労回復、ケガの予防、ストレスを抑える、風邪の予防



⑤乳製品（たんぱく質・ミネラル）

強い骨を作る、精神を安定させる、筋肉の動きをスムーズにする



風邪をひいてしまったら

風邪をひくとエネルギーの消費は高まるのに対し、食欲や、消化・吸収の低下が見られます。ウイルスに対する抵抗力、免疫力を高めるビタミン、ミネラルを十分にとり、バランスの良い食事を摂ることが大切です。糖質を含む食品（米や麺類）などでエネルギー補給をし、食欲のない時には、果物や果汁から補給しましょう。

また、胃腸機能も低下しやすくなるので、消化器官に負担をかけないように、油ものは控え、スープや煮物など胃腸にやさしい調理法の工夫をしましょう。

編集後記

秋色いよいよ深みをまましてまいりました。渓谷・耶馬溪の紅葉もライトアップされ、ひとときわ鮮やかに彩られていく様子を、私は趣味の写真撮影で楽しみたいと心躍らせる今日この頃です。皆様はどのような暮秋を過ごす予定ですか？ やがて、落ち葉が散り敷き、朝夕めっきり冷え込みます。風邪など召さないよう一層ご自愛ください。(R・H)

【患者様の権利と患者様の責務】

患者様は、個人としての尊厳が守られ、平等で最善の医療を受ける権利を有するとともに、医療を効果的にするために守って頂きたい事項があります。

〔患者様の権利〕

1. 病気の種類や個人的背景に関係なく、平等に医療を受ける権利があります。
2. 人格は尊重され、医療提供者との相互協力関係のもとで最善の医療を受ける権利があります。
3. 医療に関して十分な説明、情報を求める権利があります。
4. 医療内容について自分で選択し決定する権利があります。
5. 自己の意思に反する医療を拒否する権利があります。
6. 自己の診療記録の開示を求める権利があります。
7. プライバシーや個人情報を保護される権利があります。
8. 健康維持のため教育やサービスを受ける権利があります。
9. 安全を確保される権利があります。

〔患者様の責務〕

1. 医療提供者に対し、患者様ご自身の健康に関する情報の提供
2. 他の患者様の療養生活に支障を与えない配慮
3. 早期回復の為、医療提供者が定めた規則の遵守
4. 円滑な医療行為の為の、患者様・ご家族の積極的な医療への参加
5. 早期回復の為の、患者様・ご家族の積極的な医療への参加
6. 診療費の遅滞ない支払い